

EARNINGS REPORT FY26 Q2

2026年12月期 第2四半期 決算説明資料

GreenBee株式会社（東証スタンダード：3913）

2026年8月13日

本資料の複写・転用はしないで下さい



テクノロジーで、持続可能な未来を築く会社

DIGITAL TRANSFORMATION + GREEN TRANSFORMATION



01

DXサービス事業

継続性と収益性の高いサブスク特化型事業。GreenBee Cloud Backup・RiskFinder等を展開。

02

GXサービス事業

脱炭素化に貢献するサービスを提供する事業。系統用蓄電所の運営・EMSクラウドサービス・蓄電池システムのカスタムパッケージを展開。

03

テクノロジー ライセンス事業

競争優位な技術IPをライセンスする事業。tourbillon・GreenBee Data Transfer・Reclip等、AIを活用した製品を展開。

SECTION 01

決算概要

2026年12月期 第2四半期

単位：百万円

売上高

640百万円

前年同期比
+56.7%

営業利益

125百万円

前年同期比
+97.6%

中間純利益

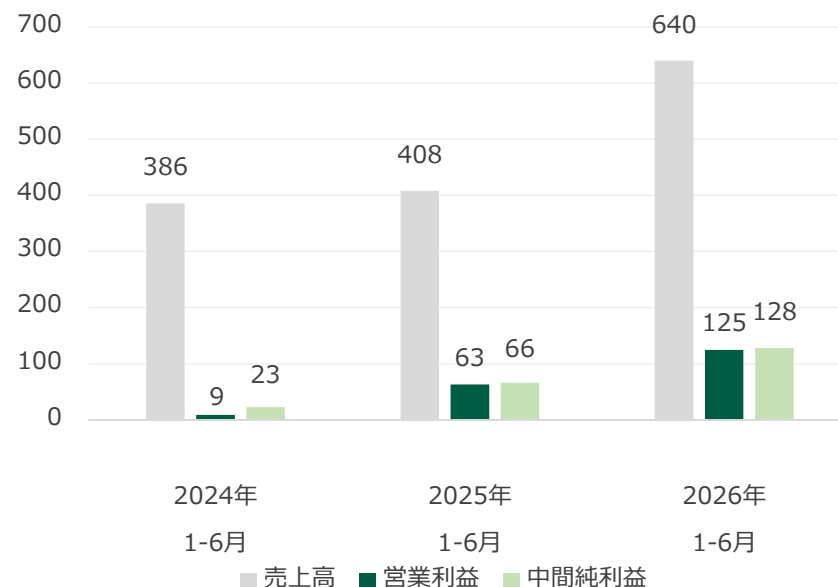
128百万円

前年同期比
+93.9%

Point

- Q2での売上高では、2016Q2以来10年ぶりに6億円を超過。
- 中間純利益は、創業以来の最高益を更新。
- 1株当たり中間純利益は、前年同期28.26円から61.63円に増加。

業績推移



予算進捗率

	2026年Q2実績	通期予算	進捗率
売上高	640	1,308	48.9%
営業利益	125	208	60.1%
経常利益	121	198	61.3%
当期純利益	128	182	70.2%

SECTION 01 | 連結決算概要 (PL)

単位：百万円

	2024年 1-6月	2025年 1-6月	2026年 1-6月	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	386	408	640	231	56.7%
売上原価	171	155	200	45	29.0%
売上総利益	214	253	439	186	73.6%
販管費	205	189	313	124	65.6%
営業利益	9	63	125	62	97.6%
経常利益	21	61	121	59	96.2%
親会社株主に帰属する中間純利益	23	66	128	61	93.9%
売上原価率	44.4%	38.1%	31.4%	▲6.7p	n/a
営業利益率	2.4%	15.6%	19.6%	4.1p	n/a

● 売上高

前年同期比でGXサービス事業で減少しましたが、DXサービス事業で「GreenBee Cloud Backup」の有償契約者数が増加したことやテクノロジーライセンス事業で想定以上の売上で着地できたことなどにより、56.7%増の640百万円となりました。

● 営業利益

主にDXサービス事業の「GreenBee Cloud Backup」の貢献により、前年同期比で97.6%増の125百万円となりました。営業利益率は19.6%となりました。

● 親会社株主に帰属する中間純利益

営業利益が増加したことに加え、法人税等調整額を計上したこと等により、前年同期比で93.9%増の128百万円となりました。

単位：百万円

	2024年 12月	2025年 12月	2026年 6月	前期末比 増減額	前期末比増減 主な要因
資産合計	1,304	1,676	1,829	152	
流動資産	1,229	1,557	1,048	▲508	・現金及び預金551減少
固定資産	75	119	780	661	・有形固定資産589増加
負債合計	113	286	618	332	
流動負債	102	186	216	29	
固定負債	11	99	402	302	・長期借入金300増加
純資産合計	1,191	1,390	1,210	▲179	・自己株式315減少、利益剰余金128増加

● 資産

現金及び預金は、系統用蓄電所(有形固定資産)の取得や自己株式を取得したこと等に伴い、前期末比で551百万円減少しました。

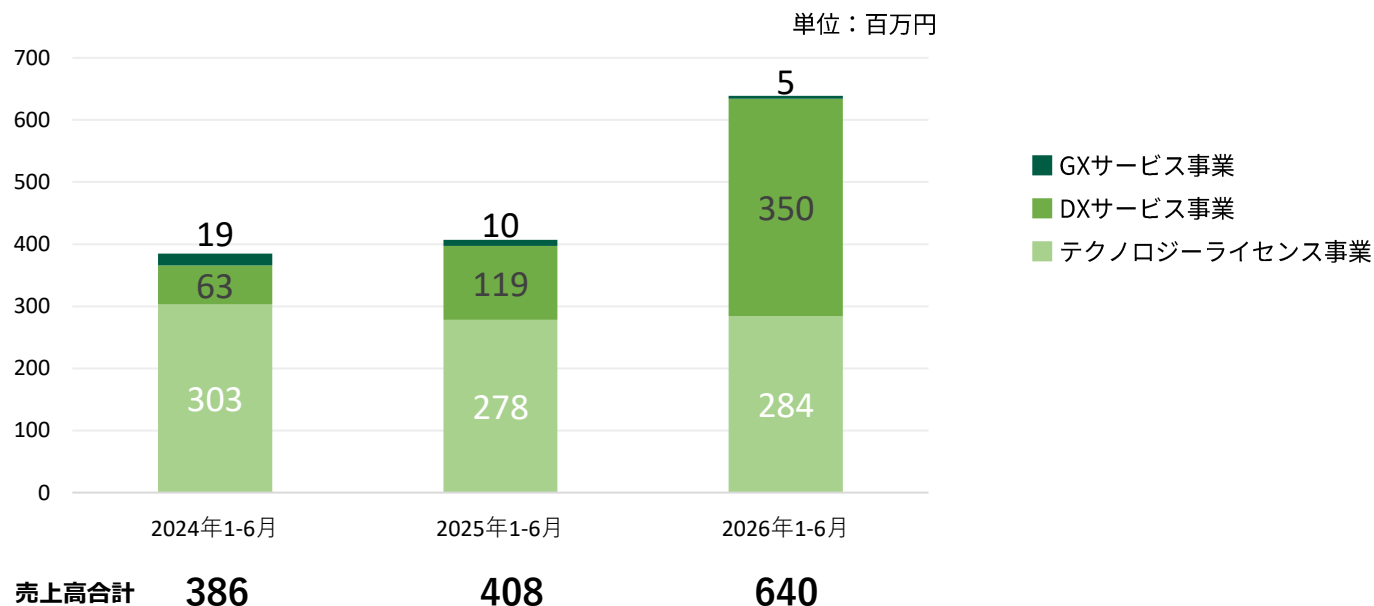
● 負債

系統用蓄電所取得に伴う資金調達により、前期末比で長期借入金が300百万円増加しました。

● 純資産

中間純利益を128百万円計上した一方で、30.6万株の自己株式を取得したこと等に伴い、前期末比で純資産は179百万円減少しました。

DXサービス事業の売上高が昨年同期の約3倍に拡大！



● GXサービス事業

6月より自社系統用蓄電所において卸電力市場での電力取引による売上計上を開始しました。

● DXサービス事業

「GreenBee Cloud Backup」の有償サブスクリプション契約者数の順調な増加により、売上高は119百万円から350百万円へと大幅に拡大しました。

● テクノロジーライセンス事業

4K/8Kプレミアムコンテンツ再生プレイヤーを搭載する顧客製品の出荷数は引き続き減少傾向である一方で、収益性の高い製品へのポートフォリオ転換等により、売上高は284百万円となりました。

SECTION 02

事業概要

2026年12月期 第2四半期

01

DXサービス事業

「GreenBee Cloud Backup」の有償サブスクリプション契約者数は50.3万人（6月末）となり、月間リカーリング収益は2025年12月比で139%に拡大。ストック型収益基盤の積み上げが継続。

（KPI進捗は13ページを参照）

02

GXサービス事業

自社系統用蓄電施設「備前市穂浪高圧第2蓄電所」にて、6/1より卸電力市場（JEPX）での取引、7/15より需給調整市場（EPRX）での取引を開始。

03

テクノロジー ライセンス事業

デバイス間高速データ転送や、AIを活用する製品等、収益性の高いライセンス製品を積極的に市場投入。

備前市穂浪高圧第2蓄電所、本格稼働フェーズに移行



蓄電所名称	備前市穂浪高圧第2蓄電所
事業主体	GreenBee Energy株式会社
所在地	岡山県備前市
事業用地面積	1,966m ²
蓄電システム定格出力	1,999kW
蓄電池定格容量	8,140kWh
運用期間	20年

6/1から卸電力市場、7/15から需給調整市場での取引を開始しました。

これにより本蓄電所が本格稼働の段階となり、今後のGXサービス事業における安定的な収益基盤の確立を進めてまいります。

また、系統用蓄電池の充放電機能を活用した一次調整力の提供を通じて、中国電力ネットワークエリアにおける電力需給バランスの安定化と、再生可能エネルギーの有効活用に貢献してまいります。

スマートフォンの個人データを容量無制限でクラウドにバックアップ

CLOUD BACKUP

- スマートフォンの個人データを容量無制限でクラウドにバックアップ。
- 高速、セキュア、かつ簡単なバックアップを実現。
- クラウドにバックアップしたデータ閲覧用のオンラインビューアも用意。
- スマートフォン販売事業者、コンシューマー向けサービス事業者などの販売パートナーを通じてサブスク販売。



2023年1月のサービス開始以来、

50.3万人の有償サブスクリプション契約者数

に到達。(2026年6月末時点)

iPhone / Android™ 両対応



オンラインビューア



有償契約者数50万人を突破、主要KPIは順調に進捗

有償サブスクリプション契約者数^{*1}

2026年
50.3万人
6月末

2026年KPI
58万人
12月末

進捗状況：◎

月間新規獲得者数^{*2}

2026年
2.8万人/月
Q1-2平均

2026年KPI
2.5万人/月
年間平均

進捗状況：◎

月間リカーリング収益（MRR）^{*3}

2026年6月
139%
2025年12月比

2026年KPI
160%
2025年12月比

進捗状況：◎

月間退会率

2026年
1.4%
Q1-2平均

2026年KPI
1.4%
年間平均

進捗状況：○

* 1 有償サブスクリプション契約者数とは、月額利用料金等の支払いを伴う契約を締結している利用者数。

* 2 月間新規獲得者数とは、当該期間（月間）において新たに有償サブスクリプション契約を開始した利用者の総数。

* 3 月間リカーリング収益（MRR）とは、対象月の月末時点における継続課金ユーザーに係る月額料金の合計額のこと（一時収益は含まない）。

MRRとはMonthly Recurring Revenueの略。

進捗状況の◎、○及び△、×の記号は、実績に対する当社見解を表す。◎：想定以上の結果であることを表す記号。○：想定通りを表す記号。△：想定を下回っていることを表す記号。×：想定を大きく下回っていることを表す記号。

SECTION 03

会社概要

社 名	GreenBee株式会社（東証スタンダード：3913）
所 在 地	東京都中央区新川2-3-1
設 立	2007年3月16日
資 本 金	10百万円
従 業 員 数	52名（役員、支配権のある子会社を含む）
子 会 社	GreenBee Technology(Shanghai), Inc.、タオソフトウェア株式会社、 GreenBee Energy株式会社
開 発 拠 点	中国：上海 日本：東京、新潟
主 な 取 引 先	Microsoft Corp.、株式会社NTTドコモ、シャープ株式会社、 富士通クライアントコンピューティング株式会社、株式会社ストアフロント、NECパーソナルコン ピュータ株式会社、Dynabook株式会社、株式会社アイオーデータ、 ソースネクスト株式会社、株式会社ウエストホールディングス、 アイ・ティー・エックス株式会社（順不同）

- 本資料は、提出日現在に利用可能な情報に基づいて、当社（連結子会社を含む）の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込み、または予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望には、様々なリスクや不確実性が内在しています。既知、もしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと保証することはできず、実際の結果が将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料中の数値は、単位未満の端数処理による影響で表中の合計と一致していない場合があります。



IRに関するお問い合わせ先は、以下のフォームからお願いします。

<https://www.greenbee.co.jp/ir/ir-contact/>